

砂防だより

NO. 126
1999.5.1



富士遊泳（朝霧高原）

みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間 6月1日～30日
 かけ崩れ防災週間 6月1日～7日

着任のご挨拶	2
県の組織改正	3
砂防関係予算	4～5
土木行政研究会 安倍大沢川の砂防工事完成 口坂本地すべり対策合同会議	6
みんなで防ごう土砂災害	7
平成11年度 砂防協会関係主な行事 新人紹介 お知らせ	8



全国治水砂防協会静岡県支部

着任のご挨拶

河川砂防総室 砂防統括監

大池 悦公

すがすがしい新緑の候、皆様におかれましては益々御健勝のことと、お慶び申し上げますとともに、砂防事業の発展に御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。

本年四月の異動により都市住宅部都市政策室から土木部河川砂防総室にまいりました。

本年度は、昭和44年度に発足した砂防課が、県庁組織のフラット化に伴い、33年の歴史を経て、新たに河川砂防総室の砂防室としてスタートすることになりました。

私自身9年ぶり3度目の砂防となりますが、思いを新たに砂防行政に取り組んでいく気持ちであります。

砂防事業の基本理念である「人命を守る」を遵守し、土砂災害防止施設の整備はもちろんのこと、ハザードマップによる地域住民への危険箇所の周知徹底や警戒避難体制の確立、防災連絡員の拡充による砂防ボランティア組織の育成等、ソフト対策も積極的に推進していきたいと思っております。

今後とも、人命を守る最前線の「砂防室」に暖かいご支援をお願いするとともに、御来庁の折りには是非のお立ち寄りをお願い申し上げ、着任のご挨拶といたします。



河川砂防総室 砂防室長

三上 智之

若葉薫る今日この頃、会員の皆様には益々御活躍のことと、お慶び申し上げます。

本年四月の異動により藤枝土木事務所から土木部河川砂防総室にまいりました。砂防統括監に負けず劣らず十五年ぶりの砂防行政ですが、皆様の御協力をいただき、ソフト対策、ハード対策の両輪で砂防事業という大きな車を砂防室全員で運転していきたいと考えております。

特に、組織のフラット化に伴う新しい体制として総合土砂災害対策スタッフを新設し、土砂災害危険区域図配布、土砂災害危険箇所表示板設置や砂防ボランティア組織の拡大など総合的な土砂災害対策を推進するソフト部門の充実を進めることとなりました。

今後とも、安全で安心して生活できる県土づくりを目指す砂防事業に旧にも倍しまして御理解と御協力をお願いし、着任のご挨拶といたします。



平成11年度

当初予算可決

砂防関係予算 154億3,600万円余

平成11年度当初予算が平成11年2月定例会において可決されました。静岡県一般会計の歳出総額は、1兆3,520億円で、前年度当初比0.1%増となりますが、伸び率は昭和32年度以来の最低となりました。

砂防関係予算の総額は154億3,693万円で前年度当初比4.1%の増です。

主な内訳と予算の概要は次のとおりです。

1 国庫補助事業

110億9,800万円（前年度当初比10.0%増）

国の補助を得て、溪流、急傾斜地等に砂防施設等の整備を行います。

2 県単独事業

27億4,200円（前年度当初比15.7%減）

国庫補助に採択されない箇所について、砂防工事、急傾斜地崩壊防止工事等を実施するもので、工事以外では土砂災害危険区域図配布事業、土砂災害危険箇所表示板設置事業や砂防等調査などがあります。

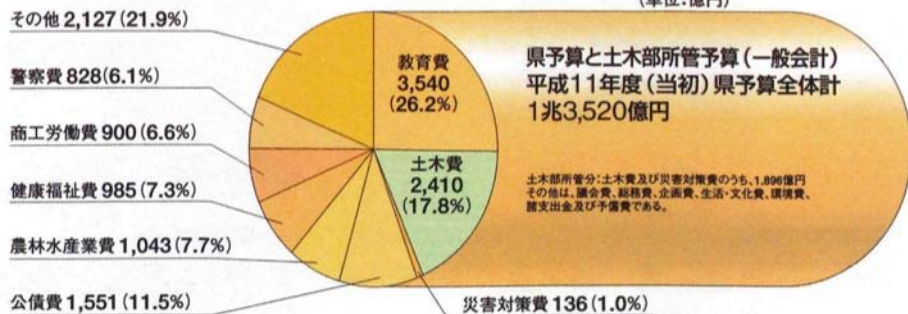
3 国直轄事業費負担金

15億9,200万円（前年度当初比6.8%増）

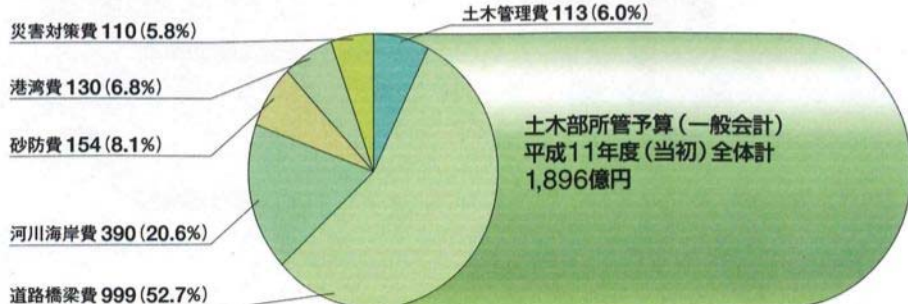
富士山、安倍川、狩野川において建設省が施工する砂防工事に対する県負担金です。

● 静岡県の砂防関係予算 ●

■ 県予算と土木部予算 (平成11年度当初)



■ 土木部所管予算 (平成11年度当初)

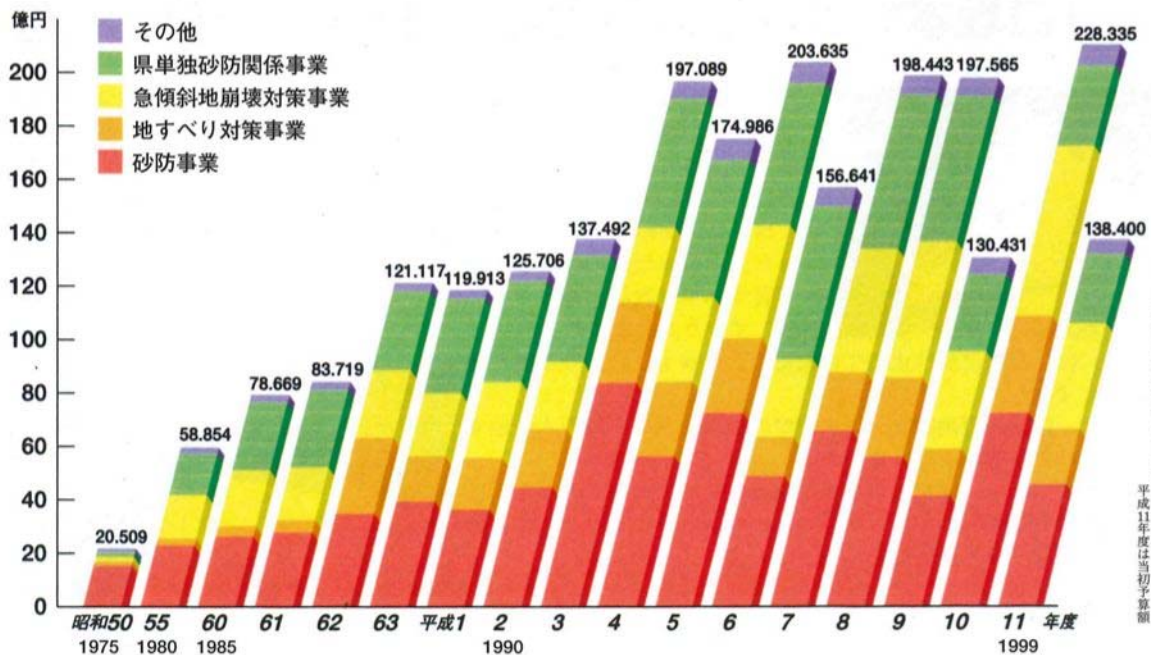


■砂防関係事業費の推移

(単位:千円)

事業名	11 当初 A	10 当初 B	10 最終 C	A/B	A/C
行政費					
砂防管理費	4,933	5,010	4,725	98.5	104.4
荒廃砂防	1,114,000	801,000	1,913,000	139.1	58.2
都市対策砂防	1,563,000	1,556,000	1,616,000	100.4	96.7
予防砂防	0	28,000	0	皆減	100.0
情報基盤緊急整備	50,000	410,000	350,000	12.2	14.3
少々	2,727,000	2,795,000	3,879,000	97.6	70.3
計					
火山砂防	1,086,000	1,040,000	1,741,000	104.4	62.4
小計	3,813,000	3,835,000	5,620,000	99.4	67.8
砂防環境整備	45,000	45,000	90,000	100.0	50.0
地すべり対策	797,000	718,000	1,339,000	111.0	59.5
地すべり帽子施設修繕	0	12,000	15,000	皆減	皆減
急傾斜地崩壊対策	3,963,000	3,755,000	6,784,100	105.5	58.4
計	8,618,000	8,365,000	13,848,100	103.0	62.2
災害関連					
緊急砂防	777,000	540,000	1,315,500	143.9	59.1
緊急地すべり対策	1,455,000	860,000	2,223,000	169.2	65.5
緊急急傾斜地崩壊対策	114,000	200,000	1,598,529	57.0	7.1
計	2,346,000	1,600,000	5,137,029	146.6	45.7
演習地区砂防	134,000	120,000	106,335	111.7	126.0
国庫補助事業計	11,098,000	10,085,000	19,091,464	110.0	58.1
県単独事業					
通常砂防	365,000	650,000	776,000	56.2	47.0
地すべり対策急傾斜地崩壊	38,000	68,000	88,000	55.9	43.2
対策	682,000	560,000	694,000	121.8	98.3
災害緊急整備	140,000	150,000	150,000	93.3	93.3
緊急輸送路関連土砂災害対策	119,000	170,000	170,000	70.0	70.0
砂防等維持修繕	130,000	130,000	160,000	100.0	81.3
砂防等調査	294,000	250,000	360,000	117.6	81.7
土砂災害危険区域図配布	7,000	10,000	10,000	70.0	70.0
土砂災害危険箇所表示板設置事業	7,000	10,000	10,000	70.0	70.0
砂防等台帳整備	14,000	12,000	12,000	116.7	116.7
小計	1,796,000	2,010,000	2,430,000	89.4	73.9
補修					
施設整備	90,000	90,000	130,000	100.0	69.2
指定促進対策	35,000	35,000	35,000	100.0	100.0
助斜					
小計	125,000	125,000	165,000	100.0	75.8
砂防	1,921,000	2,135,000	2,595,000	90.0	74.0
自然災害					
地すべり対策	245,000	350,000	350,000	70.0	70.0
急傾斜地崩壊対策	42,000	60,000	60,000	70.0	70.0
自然災害防止事業計	248,000	355,000	355,000	70.0	70.0
地域開発関連砂防事業	535,000	765,000	765,000	70.0	70.0
磐岩崩壊対策緊急整備	71,000	102,000	97,920	69.6	72.5
小計	42,000	60,000	59,140	70.0	71.0
磐岩崩壊対策緊急整備	113,000	162,000	157,060	69.8	71.9
地方特定砂防環境整備事業	173,000	191,000	225,000	90.6	76.9
計	286,000	353,000	382,060	81.0	74.9
県単独事業計	2,742,000	3,253,000	3,742,060	84.3	73.3
砂防費	13,840,000	13,338,000	22,833,524	103.8	60.6
国直轄事業費負担金	1,592,000	1,490,000	2,752,077	106.8	57.8
合	15,436,933	14,833,010	25,590,326	104.1	60.3

■砂防関係事業費の推移



「土木行政研究会」で前建設省砂防部長・田畑氏の講演会を開催



静岡県では、土木行政を進めるうえで課題となっている事項や新たな話題について研究を進め、今後の土木行政推進の糧とするため、専門家を講師に招き「土木行政研究会」を実施しております。

今回は、砂防課の主催で平成11年1月29日に前建設省砂防部長の田畑茂清氏を講師に迎え、「土砂災害の特性とその対策～ボランティアの活用～」と題して講演会を開催いたしました。

当日は、土木部長をはじめ各課の課長、補佐や出先の土木事務所長、課長などのほか、建設省直轄事務所、市町村の職員、ボランティア協会員など総勢85名程の参加のもと、砂防に関する各地の話題を絡めての危機管理や住民参加の手法など興味ある講演をしていただきました。

児童のアイデアを取入れた「安倍大沢川」の砂防工事完成

静岡市立賤機北小児童のアイデアを取入れた安倍大沢川の砂防工事の完成式が3月6日、静岡市俵沢の賤機北小で開催され、全校児童や地域の住民が完成を祝いました。

完成式は同小学校の卒業式に合わせて開催され、子供たちの描いた絵をタイルにしてはめ込んだイチョウ橋の渡り初めも行われ、児童の代表が「私たちの希望が取入れられて良かった、一生の思い出となる。」と完成を喜んでいました。

安倍大沢川は賤機北小の横を流れる砂防河川で、平成7年度から護岸工の整備を実施してきましたが、「公共事業に地域の意見を」との声をきっかけに、同校の児童、町内会、土木事務所などが話合って計画されました。

護岸は防災と環境整備を目的とした親水性護岸です。また、児童会「やまびこ委員」が中心となり、全校児童から集めたアンケートを取りまとめた計画案をもとに、4本のイチョウの木のそばえる中の島に渡る橋も架けられ「賤北ふれあい公園」と名付けられました。



「口坂本地すべり対策合同会議」(静岡市) 開催



平成11年2月23～24日にかけて、建設省土木研究所地すべり研究室綱木室長、東京農工大学農学部中村教授などの有識者を迎えて、「口坂本地すべり対策合同会議」が開催されました。

2月23日には、段差や亀裂・崩壊などの地すべりの変状を現地調査するとともに、ボーリングのコア（地中から抜取った柱状の土・岩）を観察しました。

また、口坂本地区の住民を集めて、30分ほどと短い時間でしたが、東京農工大学農学部中村教授に地すべり・砂防・がけ崩れなどの土砂災害全般について講演していただきました。

住民の方には、真剣に受け止めていただき、今後もこのような場が必要だと痛感しました。

翌24日には、前日の現地調査・コア観察の結果も含め、口坂本の地すべり対策について、討論を行いました。

口坂本の地すべりは、非常に大規模で複雑なものであることから、このような会議が継続され、今後も地域の安全を図っていくとともに、地すべり調査・対策工等の発展に寄与できたら良いと思います。



みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間

がけ崩れ防災週間6月1日～7日

6/1-30

梅雨どきは、雨量も多く地盤がゆるみ、土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害が発生しやすくなります。

土砂災害は破壊力が大きく、突発的に発生するため、一瞬のうちに尊い人命や財産を奪うおそろしい災害です。

土砂災害から人命、財産を守るために、建設省と静岡県では、毎年6月を「土砂災害防止月間」と定め、がけ等の危険個所のパトロールをするなど災害防止に努めるとともに、土砂災害に対する県民のご理解、ご協力を得るよう様々な行事を行います。

土砂災害防止月間の行事予定

- 6.1～11 急傾斜地パトロール (県内)
- 3 砂防ボランティア全国の集い (富山市)
- 3 土砂災害防止推進の集い全国大会 (富山市)
- 20 砂防フェスティバル'99しずおか (静岡市青葉緑地)
- 20 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文コンクール入賞者の表彰
- 1～30 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文コンクール応募作品展示 (県庁・県総合庁舎)

●土砂災害の分布図 (市町村別)



土砂災害とは？

土石流

谷や斜面に貯まった土・石・砂などが、梅雨や台風などの集中豪雨による水といっしょになって、一気に流れ出してくるのが土石流です。破壊力が大きく、また速度も速いので、大きな被害をもたらします。

土石流危険渓流

渓床勾配が1/20 (3度)以上であり、土石流による被害が人家5戸以上 (又は公共施設) に及ぶことが予想される渓流



地すべり

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層など滑りやすい面が地下水の影響などで、ゆっくりと動き出す現象です。一度に広い範囲が動くため、ひとたび発生すると住宅、道路、鉄道、耕地などに大きな被害を及ぼしたり、川をせき止めて洪水等を引き起こすことがあります。

地すべり危険箇所

地すべり地域の面積が5ha (市街化区域又は用途地域では2ha) 以上で、人家が10戸以上 (公共建物を含む) 又は河川、鉄道、道路などの公共施設に被害が予想される箇所



がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのががけ崩れです。突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので、逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。また、地震をきっかけに起こることがあります。

急傾斜地崩壊危険箇所

勾配30°以上、高さ5m以上の急傾斜地で、崩壊により5戸以上の人家あるいは官公署、学校、病院、旅館等の公共建物に被害が予想される箇所



警戒・避難のための心構え

●雨に注意していますか？

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。一般に1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上になったら十分な注意が必要です。



●逃げ方を知っていますか？

土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつけてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げるようにしましょう。



●避難場所は決まっていますか？

普段から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう

